

魯迅と世界文学

藤井省三著／四六判368頁／本体2700円十税

東アジア共通の文化遺産でありモダン・クラシックである魯迅文学を、作家たちほどのように受容し作品へと昇華させていったのか。グローバルな時空から魯迅文学や、張愛玲・莫言・村上春樹など東アジア作家による魯迅読書体験を読み解いていく。978-4-497-22022-6

中国は「中国」なのか

「宅茲中国」のイメージと現実

葛兆光著／橋本昭典訳／A5判384頁／本体5000円十税
時代によって揺れ動く「中国イメージ」を、中国内部の歴史的叙述や周辺地域（日本・朝鮮・ヨーロッパなど）の視点とその交流史から描き出した名著『宅茲中国 重建有関「中国」的歴史論述』の全訳。978-4-497-22024-1

北魏史 洛陽遷都の前と後

窪添慶文著／四六判312頁／本体2200円十税

秦漢代と隋唐代という統一帝国に挟まれた分裂の時代、魏晋南北朝時代にあつて、一五〇年近く続いた北魏とはどのような国であつたのか。本書は、北魏が大きく変化する第七代孝文帝の改革から始め、北魏の興亡を語るとともに、隋唐代に与えた影響をも考察する。978-4-497-22024-0

東方書店

ホームページ【中国・本の情報館】<https://www.toho-shoten.co.jp/> *価格税別
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3 TEL03-3937-0300/FAX03-3937-0955



日中韓文人交流と相互理解

明治大正期の詩詞を通して

萩原正樹編 八〇〇〇円

詩詞を通じた文人交流は、互いの理解にどのような影響を与えたのか。明治期における日台文人交流や、内藤湖南、森槐南、長尾雨山、久保天随ら明治・大正期を代表する優れた漢学者・漢詩人の文学と交流、また金允植と日本人との詩文唱和についてなど、日中台韓の研究者が従来にはない視点から描き出す。
周志煌・萩原正樹・汪超・詹千慧・魯耀翰・頼信宏・余筠珺

愛知大学国研叢書第4期第5冊

ラサール訳『嘉音遵囑唵菩薩之語』

研究と影印・翻刻

永井崇弘・塩山正純編 七〇〇〇円

十九世紀初頭に漢訳された「マタイの福音書」(英国ランベス・パレス図書館蔵)全文を紹介し、その訳語を比較検討する。

新刊

青蔵高原東部の

チャン族とチベット族

2008 汶川地震後の再建と開発【論文篇】【写真篇】

松岡正子著

A5判上製函入(論文篇544頁 写真篇284頁) 一六〇〇〇円

【論文篇】汶川地震被災後の移住政策による地域社会の再編、復興と観光開発のなかで、民族文化はどのような役割を担ったのか。災害復興における文化の力を考える。【写真篇】伝統的な暮らしから、被災後の生活再建、観光開発による新たな民族的景観を収めた、30年にわたるフィールドワークの貴重な記録。フルカラー。

あるむ

名古屋市中区千代田3-1-12 第三記念橋ビル3F
☎(052)332-0861 ☎(052)332-0862

E-mail: arm@a.email.ne.jp
<http://www.arm-p.co.jp>

*価格税別